

【事業名】自動車・蓄電池トレーサビリティ事業の実証

事業者名：一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター
株式会社NTTデータ

実施期間：令和6年3月～令和6年8月

1. 事業の背景・目的

世界的にカーボンニュートラル社会の実現に向けた電動車の普及拡大が進み、電動車の中古車市場への流入、廃棄が想定される中で蓄電池のリユース・リサイクルに係るルール形成が各国で進んでおり、サプライチェーンにおけるデータ連携の仕組み作りが進んでいる。

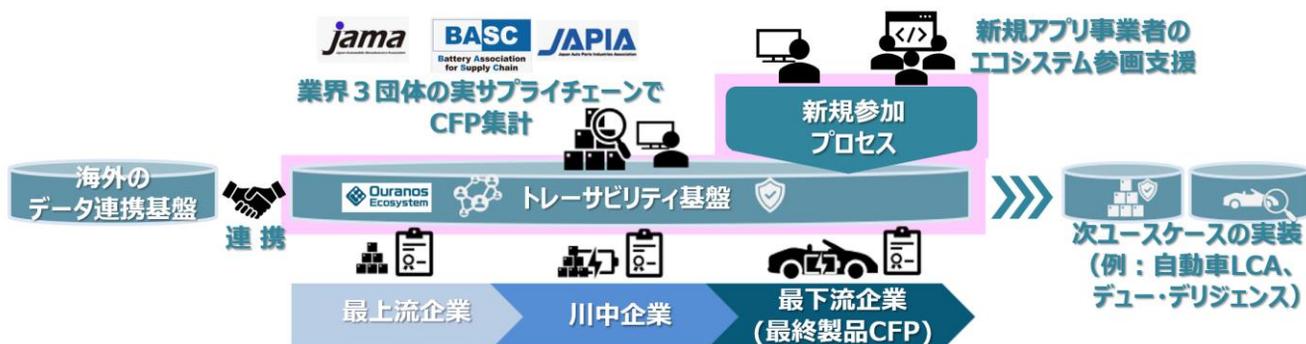
その中で、国内の蓄電池のエコシステムに構築・ルール形成が、蓄電池のみならず電動車も含めた市場形成に大きな影響を与え、今後CO2排出量の少ないサプライチェーンを構築できるかどうか蓄電池の競争力を規定する可能性があること、さらに、ルールそのものが膨大な認証やデータ流通を要することから、認証ビジネスやデータ連携プラットフォームの産業を誘発し、大きな市場になることが想定される。

本事業では、上記のような状況において、蓄電池のカーボンフットプリント等のサステナビリティに関係するデータの取得に関する実証や、新たなアプリケーション事業者のデータ連携基盤への参入容易性向上の検討などを通して、電動車等の普及、およびCO2排出量削減を促進することを目的とする。

2. 補助事業の概要

「蓄電池トレーサビリティ管理システム」において、「データ流通システム/ユーザ認証システム」及び「アプリケーション事業者」と以下について実証を行った。

- 自動車業界・電池業界各社の参加を経て、実際のサプライチェーンを想定したカーボンフットプリント集計の実証を国内最大規模の参加者数にて実施。
- 令和6年8月時点の情報を踏まえ、欧州電池規則へのシステム対応要件を整理し、業界団体、DADCと協議の上、要件定義書を作成。
- 連携する新規アプリケーション事業者が、早期かつ容易に参加可能となるよう、標準的な参加プロセスを実証し、健全で活発なエコシステム構築に向けた準備を推進。



*1 業界3団体：日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、電池サプライチェーン協議会